町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課　第４５８号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

9
2006



ふれあい料理教室「おいしい料理ができました」

鋸南町食生活改善協議会（戸倉英子会長）では、「子どもたちと一緒に料理をしたいが、なかなか時間がなくて」という共働きの家族を対象に、家族のふれあう時間を提供しょうとふれあい料理教室を平成１１年から開催しています。

参加した家族からは「子どもと一緒に料理をすることは、毎日あわただしい中ではなかなか出来ないので、いつもこの機会を利用しています。子どもが料理の大変さや楽しさ・重要性を感じることが出来たみたいでとても良かった。」と感想が聞かれました。

戸倉会長は、「普段買ってしまうことの多いシューマイなどを自分で作ってみることで、食事を作ることの大変さを理解し、そのことが食べ物を粗末にしたらもったいないという気持ちを育む機会にこの教室がなったら」と話されていました。

地域医療で必要なのは住民自らが健康を意識すること！



鋸南町では、８月５日「地域医療への取組みについて」と題して、中央公民館で湯沢町保健医療センター勤務の医師村上智彦氏を招いて職員研修を行いました。今回の研修はＮＨＫのテレビ特番で地域医療に取組んだ村上氏がその地域を離れる時に、住民からやめないで私たちの医師であり続けてほしいと言われた姿に白石町長が共感し、今まで取組んだ地域医療について話して貰おうと企画されました。

村上氏は全国ワースト１位だった旧瀬棚町の老人医療費年間約１０６万円/人を３年間で８１万円/人まで減らした実績があります。

研修では、老人医療費を劇的に減少させた予防医療の実践について、時間はかかるが、データを掘り起こして比較をすることで結果がでることや病院や各セクションの敷居を低くして診療中でも医師・保健師・ヘルパー（医療・保健・福祉の連携）が頻繁に話をすること。また、在宅で高齢者を介護している人たちは地域の医療費を抑えている人たちなので、この人たちが報われない様では在宅介護は進展しないと話してくれました。予防医療の観点では、「Ｑなぜ、健康診断を受けた人と受けない人では受ける人が長生きなのか？　Ａそれは、受ける人は自分の健康意識が高い人たちだからです。」など質問形式で話は進みました。

最後に地域医療とは「住民の健康意識を高めていくことがもっとも重要で、病気になってから気を使うのではなく、病気になる前の普段の生活から注意すること。」と話してくれました。

研修を受けた職員は「なかなか目に見えてこない予防活動をデータとして管理し、医療・保健・福祉の連携から実績を上げてきた村上氏の活動に少しでも近づけるようにしたい。」と語っていました。

城西大学経営学部　鋸南町で職場体験



城西大学の学生が職場体験について発表



職場体験の様子

城西大学経営学部の授業の一環として、企業・事業所・役所などで実習、職業体験を通じて学生自身のこれからの進路、更に地域の発展にどうすれば貢献できるかを目的に行われました。

今回は経営学部の３年生１０人が８月１４日から１８日まで鋸南町に滞在し、役場班（公務員志望）・商工会班（企業・事業所志望）に分かれて地域振興の取り組みについて体験し、最終日にその成果を発表しました。

役場班は地域振興課・海洋センター・資料館・水道課に勤務。普段は体験できない業務に携わり、体験した学生からは、「ビジネスインターンシップで鋸南町に来るまで、鋸南町について何も知らなかった。鋸南町は歴史と自然が多く残っているので、この良さを残しつつ知名度を上げればよいのではないか」と意見がありました。

商工会班は、住吉飯店・なぎさ・紀伊乃国屋・アヴェールに勤務。技術が必要な職場ともあって、基本は接客や皿洗いなどが主でしたが、体験した学生は「接客の重要性を知り、今後は営業などの職についたら役立てたい。」と積極的な意見が聞かれ、学生たちにとって良い体験ができたようです。

千葉大看護学部が実習

千葉大看護学部４年生１１人が７月１９日から２８日の２週間にわたり、鋸南町で「総合実習」を行いました。

実習のテーマは「糖尿病予防を中心とした壮年期の健康づくり活動」で、鋸南町保健福祉課と協働して、実際に家庭訪問などで町民に面接し、情報を収集や分析、活動計画を立案する実習です。あいにくの梅雨空に、合羽を着て自転車で町内に出向いていましたが「町民の皆様に快く家庭訪問を受けていただいたので、活動的な高齢期を迎えるための壮年期の健康づくりについての対策を、ひとつでも明らかにしたい」と意欲的に取り組んでいました。



鋸南町で看護実習を受けた千葉大看護学部の学生

子ども夏祭り開催

７月２３日（日）中央公民館を会場にジュニアリーダー（会長小澤由希子）が主催する「こども夏祭り」が開催されました。当日は１３０名の親子が参加をし、空き缶つみ競争やジャンケン大会で盛り上がりました。ジャンケン大会では、今年の夏男・夏女を決めるジャンケン勝負もあり、夏男には、大川原洸希くん（保田小）、夏女には、松川明日香さん（保田幼稚園）が選ばれました。また、中高生が店主となる出店コーナーでは、射的やお菓子つり、かたぬきコーナーなど大変盛り上がりました。

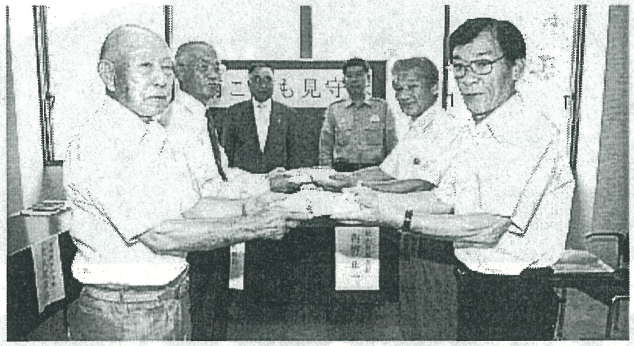


大盛況！　出店コーナー

黄色の腕章が子どもたちを見守ります
～子ども見守り隊発足～

登下校時の子どもたちの安全を確保しようと、このほど、鋸南町に「子ども見守り隊」が発足しました。この子ども見守り隊は、地域で活動する人々が散歩などのついでに登下校時の子どもたちを見守ろうというものです。

この日は、見守り隊に参加する老人会、区長会、防犯協会、交通安全協会、小学校ＰＴＡ、小中学校、館山警察署、役場、教育委員会それぞれの代表が公民館に集まりました。子どもたちを多くの地域の目で見守ること、活動が長く続くように「できる時間で、できる人が」活動していくこと、不審者を見かけたら直接対応せず警察に通報することなどが話された。その後で鋸南ロータリークラブから、「見守り隊」として活動する団体を代表して、区長会長、老人クラブ会長に見守り隊の黄色い腕章が寄贈されました。



見守り隊の腕章を受け取る佐久間区長会長と松川老人クラブ会長

頼れる駐在さんに感謝状

町の治安の確保、剣道を通した子どもたちの健全育成に尽力している吉浜駐在所の山﨑広美巡査長に白石町長から感謝状が手渡されました。

山﨑巡査長は、平成６年に同駐在所に赴任。１２年間にわたり、町の安全を守っています。

また、剣道六段の腕前を生かして、町内の子どもたちに剣道の指導を続けています。白石町長は「山﨑巡査長には子どもたちみんながお世話になっている。町の安全、子どもたちの健全育成には欠かせない存在で、いつまでも鋸南でがんばってほしい」と感謝の気持ちを手渡しました。



感謝状を受け取る山﨑巡査長

鋸南味わいハイキング

今回は、笑楽の湯の夕涼み風呂と谷地区の行灯祭りといった夕暮れコースでした。

夕方、奥山をスタートして林道を約２時間散策し、笑楽の湯へ向かいました。当日の笑楽の湯は夏みかん風呂でさわやかな香りと共に汗を流し、夕食は、女優の宮沢りえさんも食べたというロケ弁を味わいました。その後一同、懐中電灯を手に谷の行灯祭りへ出発。行灯は地元の子供たちが書いたと思われる人形や動物の絵、墨青会のみなさんの書かれた大作ともいえる作品の数々。昨年より40個も増えたとのこと。蜜蔵院の境内は祭りの屋台もお目見え、文化の伝承をそこに見ることが出来、地域ぐるみでのにぎわいを感じました。帰りは行灯の明かりに守られながら参加者の感動もひとしおでした。



B＆G全国水泳大会で優勝

８月２０日（日）に兵庫県やしろ会館にて「２００６Ｂ＆Ｇ全国ジュニア水泳競技大会」が開催され、海洋センターで練習をしている選手が大活躍しました。

今年度は、全国から２１５名が参加。鋸南町海洋センターからは、選手コースで練習する田村宥貴くん（保田小６年）青木彰伍くん（鴨川小５年）田村光くん（保田小３年）の３名が千葉県代表として参加。３名とも素晴しい泳ぎで上位入賞を果たしました。

≪結果≫

５・６年の部

優勝（背泳ぎ）
青木彰伍選手
（右）

優勝（平泳ぎ）
田村宥貴選手
（中央）

３・４年の部

４位　バタフライ
田村　光選手
（左）



墨青会作品展開催！

公民館で活動を続けている水墨画サークル「墨青会」が、道の駅ギャラリーで作品展を開催しました。

墨青会は平成３年に公民館教室としてスタート。平成５年にサークルへと移行し、現在も活動を続けています。講師は館山市在住の鈴木　栄先生。鈴木先生は南画の流れをくんだ、風景や花鳥を中心に教えてくださっています。今回の作品展は全て会員の自慢の作品を集めて展示しました。

墨の濃淡で作り出される水墨画の世界は、静寂の空間を創り出し、作品を見ている人に安らぎの空間を与えてくれます。また夏の暑い時期の展示でしたが、涼を感じさせてくれました。

最後に会員から一言。「次の展示予定は文化祭。秋の新作を揃えて展示しますので、是非見に来てください。」

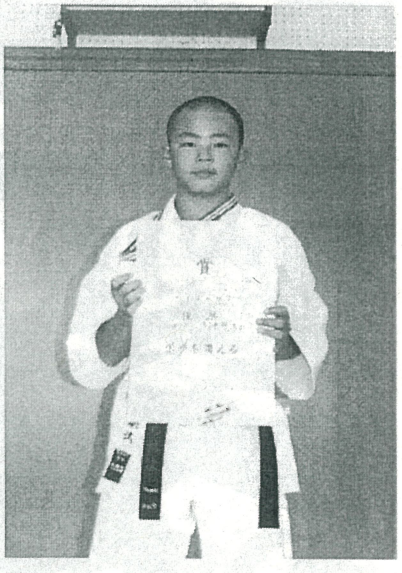


鈴木航汰選手　関東チャンプに

第２５回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会空手道競技がこのほど神奈川県相模北総合体育館で開催されました。大会は一都７県の小学生４・５・６年生が形・組手の部に分かれて熱戦が展開されました。

鈴木航汰選手（保田小学校６年）は予選で埼玉・茨城・群馬・千葉県のＢブロックに入り、総当りのリーグ戦において全勝で勝ち上がり、Ａブロック１位の昨年のチャンプ神奈川県の宮内健聖選手と２年連続の決勝対決となり、激戦の末３対２で堂々の関東チャンプに輝きました。

鈴木選手はすでに来年３月に銚子市で行われる全国少年少女空手道選手権大会に選出されており、今後の活躍も期待されています。



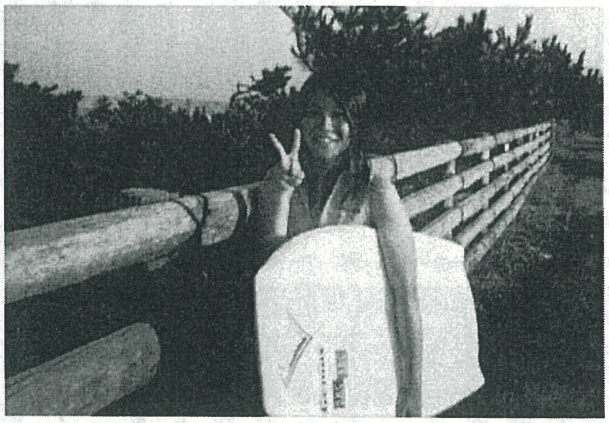
優勝した鈴木選手

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（54）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①現在、歯科衛生士の資格を活かし、歯医者に勤務しています。週２回ほど、鋸南町にも訪問口腔ケアとしてお宅に伺っています。
お休みの日には８年前から続けているボディーボードをするため海に通いつめ、大会で優勝出来る様、日々練習しています。海や山に囲まれた地元が大好きなので、仕事や趣味共に勉強・経験をつんでいきたいです。
②口腔ケアを行っていて、至らない事がたくさんあると思いますが、“ありがとう”や“来てくれるのが楽しみだ”と言って頂ける言葉に、日々助けられ、感謝しています。何事にも思いやりを忘れずにしていきたいです。
③町民が触れ合う場所が少ないと思います。子どもからお年寄りまで便利で住みやすい町づくりをお願いします。



渡邉 美友さん（上佐久間区・歯科衛生士）

次回は髙橋 舞子さん（町区）へバトンタッチされます。



笹生　伸一さん（両向区・サービス業）

次回は黒川　芳孝さん（田町区）へバトンタッチされます。

①１年前から、明治牛乳あわ宅配センターで働いています。朝早くからの配達で大変ですが、すばらしい仲間に恵まれ毎日楽しく過ごしています。
②春から長男が高校へ入学し、長女も来年は中学へ入学します。日々成長していく子どもと家族へ感謝の気持ちでいっぱいです。
③昨年、娘が大房岬での研修に参加させて頂きました。その夜、娘が熱を出してしまい役場の方に大変お世話になりました。朝には熱も治まり楽しく過ごせたようです。このような場をこれからも続けていってほしいと思います。

県道を花いっぱいに

富津館山道鋸南・富山ICから勝山方面にかけての県道脇に、初雪草やマリーゴールドの他５種類の草花が植栽され通行する人の目を楽しませています。
植栽や管理を行っているのは、本郷区宮ケ谷地区の出口佐一さん夫妻を中心とした８人のボランティアの方々で、県道傍のポケットパークの整備や、５００ｍに亘る道路脇に季節毎に種まきを行い、草取りなどの管理に汗を流しています。
10年ほど前から行われているこの活動、四季折々の花模様にドライバーや散歩の方々の評判も上々です。



家庭教育通信 すくすく No.62

「早寝早起き朝ごはん」

朝食は、一日のやる気の源です。朝食をぬくと何が問題なのでしょうか。

人は、食事を体内で糖分に変え、エネルギー源にして活動しています。朝食をぬくと午前中の活動に必要な糖分が入りません。特に脳は、糖分をため込まないため、食事の間隔があきすぎると活動が鈍り、集中力も保てなくなります。エネルギー不足に体が慣らされると、体温が上がらず、基礎代謝（じっとしていても消費するエネルギー）が下がります。基礎代謝が下がると摂取した脂肪が分解されにくく、肥満になりやすくなり、糖尿病や高血圧などの危険性も高まります。朝食ぬきは、生活習慣病になりやすい体を自ら作っているようなものです。

朝食を食べるようにするには、生活習慣全体を見直し、まず早起きすることです。早起きして朝の光を浴び、空腹を感じる頃に朝食を食べるようにします。そして一日の活動が始まります。こうした自然のリズムを作るのに朝食は不可欠です。

それでは、どんなことを心がけるとよいのでしょうか。

鋸南町給食センター　管理栄養士の酒井淳子先生にお話を伺いました。

☆朝食をおいしく食べるための６つのポイント

①寝る前は食べない。夕飯後におやつを食べない。
②出かける支度は、前の日に。
③早く寝て、睡眠時間をたっぷりとる。
④少し早めに起きて、朝ごはんまでの時間をあける。
⑤起きたら身体を動かす。
⑥生活リズムを規則正しくして、決まった時間に朝食をとる。
・パンと牛乳の朝ごはんにゆで卵とバナナ１本加えるだけで栄養のバランスはとてもよくなります。

☆食事を楽しく食べるために家族で心がけたいこと

①親が料理する姿を子どもに見せる。
②日頃から子供と一緒に台所に立ち料理する。
③器や盛りつけの工夫など、食べる楽しさの工夫をする。
④買い物の機会を生きた教材として活用する。
⑤家庭菜園で野菜を育てる楽しさを知る。
⑥我が家の味を覚える。
⑦行事食や郷土食のいわれを聞いたり、体験したりして、先人の知恵を知る。

私たちの食生活環境は、飽食とも言われるほど豊かなものになっている中で、様々な問題を抱えています。例えば、食環境の変化（個食、弧食、欠食、偏食）、栄養バランスの偏り、不規則な食事、肥満などの生活習慣病の増加、過度なダイエット志向などがあげられます。また、食べ残しに伴う食糧資源の浪費も問題となっています。このような状況を踏まえ、10項目からなる「食生活指針」を酒井先生が紹介してくださいました。

☆食生活指針

（平成12年3月文部省、厚生省、農林水産省決定）

①食事を楽しみましょう。
②1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。
③主食、主菜、副菜を基本に食事のバランスを。
④ごはんなどの穀物をしっかりと。
⑤野菜、果物、牛乳、乳製品、豆類、魚なども組み合わせて。
⑥食塩や脂肪は控えめに。
⑦適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を。
⑧食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も。
⑨料理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく。
⑩自分の食生活を見直してみましょう。

生き生きと活動するために、明日から「早寝早起き朝ごはん」を心がけましょう。

教育委員会
電話55―2120

健康通信

「肝臓がん」

肝臓にできる悪性腫瘍を一般に肝臓がんといいますが、最初から肝臓の組織に発生したものは「原発性肝がん」肝臓以外の臓器にできたがんが肝臓に転移して発生したものを「続発性肝がん」といいます。「原発性肝がん」は生活習慣病として50歳代以降の男性に増加が目立っています。肝がんは進行した肝硬変に合併して起こることが多く、特にウイルス性肝炎から慢性肝炎、肝硬変へ移行した人では肝がんの発生率が高くなります。症状はほとんどありませんが他の肝臓病と同じようにだるさやおなかが張る感じなどがまれにあります。

肝硬変の最大の原因は肝炎ウイルス感染による慢性肝炎です。特にC型肝炎が原因となっている肝硬変の30％に肝がんが発生することがわかっています。アルコール性肝障害や脂肪肝から肝硬変になった場合には、肝がんになる率は低いとされていますが、日常的に酒量が多い人がウイルス性肝炎になり、肝硬変になった場合はかなり高い確率で肝がんが発生します。

肝臓をいたわる生活のポイントは次のとおりです。

①良質なたんぱく質をしっかり摂る。
②ビタミン・ミネラル豊富で栄養バランスのよい食事にする。
③適正カロリーを心がけ肥満を予防する。
④食事は3食規則正しく、朝食を抜かない、夕食が遅くならないようにする。
⑤添加物・加工食品・インスタント食品を避ける。
⑥禁酒が原則、ストレスをためない、適度な運動を心がける。

肝臓をいたわる生活を心がけたうえでさらに肝臓がんを予防するには、健診を受けることが大切です。健診の結果、肝機能に異常がある場合は超音波検査・CT検査・MRI検査などの精密検査を受けましょう。またC型肝炎ウイルスに感染したことが判明した場合も年に1回検査を受けて肝機能の状態を確認することが大切です。

（保健福祉課　健康推進室）

歴史資料館

●連載169

伊勢参り（8）

源平史跡と金毘羅参り

伊勢参りを終えた泰輔一行は、さらに西国へ旅を進めます。

十六日、楠木正成を祭る楠寺を参詣。水戸黄門が建てた楠公の石塔を見学し、湊川を渡り神戸へ。ここは平家物語でいう福原の都です。須磨の浜辺は、清盛塚、重衡生け捕られの松、敦盛首塚、義経腰掛の松など源平合戦ゆかりの旧跡の多いところです。さらに進んで一の谷逆落とし。悲劇の平家の公達、敦盛の石塔は西の奥にあります。

ここまで名所旧跡を夢中になって見尽くしているうちに、時刻はとうにお昼を過ぎて大いに空腹。あたりには茶屋もありません。やっとこの敦盛石塔の前に名物敦盛蕎麦の店を見つけました。

「昼食がのびておなかが須磨の浦あつもりさんのそばぞ嬉しき」

この日は明石の浅田屋泊。

十七日、姫路城下に入り、和泉屋という宿に二泊。繁盛する城下の名産は、姫路皮の皮細工です。

十九日、赤穂へ。やはり忠臣蔵の本家本元。花岳寺の四十七士の墓の参拝は欠かせません。

赤穂は塩の名産地でもあり、塩でいろいろ細工し、箱入りにして土産として商う花塩はとても美しいと泰輔は書き留めています。当時の旅の一つの目的は、各地の名産視察でもあるのです。そして、備前焼で知られる伊部を過ぎ岡山へ。ここも西国に名高い繁盛の地です。しゃれた茶屋の多い参道を抜け瑜伽山を参詣。

二十二日、田の口から船に乗り、四国讃岐へ海上三里。このあたり鯛、鰆など多く漁して、値段格別安しと泰輔は書き留めています。船は丸亀城下に着き、備前屋で休息昼食をとり、いよいよ金毘羅参詣です。末社全て参拝し、下ってふもとの高尾屋泊。二十三日、丸亀に戻り、乗船。田の口着。

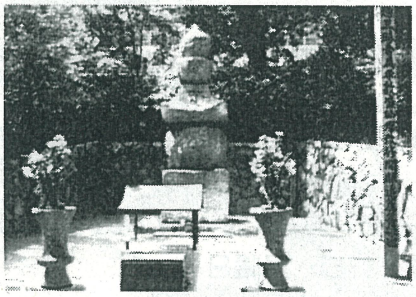
計画変更、京へ

さてここで問題が発生しました。仲間の一人が具合が悪くなったのです。実は、計画では、この後、安芸の宮島、岩国の錦帯橋、出雲大社から九州の長崎まで行くつもりでした。しかし、ここで別れ別れになるのも忍びず、計画を断念、Uターンすることにしました。それにしても途方もない大計画。むろん全て足で回ろうというのですから、昔の人はたいしたものです。

さて一行は、もとの道を戻り、二十九日には、須磨の浦。よほど気に入ったのか敦盛蕎麦でまた昼食。灘では、造り酒屋に立ち寄り、土蔵を案内してもらい、酒もふるまわれ、しばし休息。そして西宮。ここから京都への分かれ道です。

五月二日、山崎から淀川の船渡し。石清水八幡宮を参詣し、いよいよ京へ入りました。まず東寺参詣。三条通りに出て、三条大橋際の米屋という宿に宿泊。思いのほかよい宿、と泰輔の感想です。ここに五日逗留して、洛中見物です。

三日、宿で案内を頼み、知恩院、牛頭天王、高台寺、清水寺、三十三間堂など名だたる神社仏閣めぐり。途中、祇園や丸山の料理茶屋、遊女屋のチェックも抜かりありません。この旅で、泰輔は、どこに遊女屋があるか、「伊勢詣」の中にところどころ、まめに書き入れています。これもこれから旅する者への重要な情報になります。まあ男性だけが知りたい情報ですけれど。（続く）



敦盛石塔

生涯学習 みんなで学ぼう

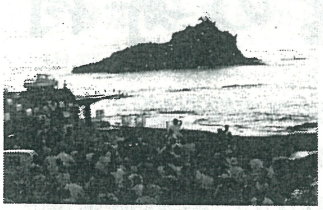
「鋸南のいいところを写真に残そう」



シャッターチャンスをねらって

公民館では、８月から江田晃一先生を講師に「鋸南のいいところを写真に残そう」という写真教室を行っています。この教室は、鋸南町の名所旧跡や伝統行事をテーマに写真技術を学びながら映像に残そうという教室です。

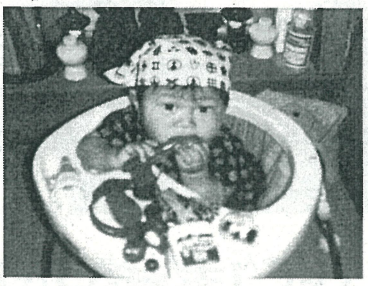
初回のテーマは「灯籠流し」。毎年川尻海岸で行われている行事で、先祖供養・安全祈願のために灯籠が流されます。みささぎ島に灯明がともり、幻想的な光景の中、江田先生のアドバイスで教室参加者たちの思い思いのシャッターを切る音が聞こえました。



みささぎ島へたくさんの灯ろうが流されます

問い合わせ先　中央公民館　Tel 55－4151

わんぱく登場



琉貴也くん　０歳９か月

〔渡邉 信貴さん　第１子　岩井袋〕

お祭りでお母さんに抱っこして、お父さんがお御輿をワッショイワッショイってかついでいるのをみたんだ。それ以来ワッショイが気に入って、うれしいときにはワッショイワッショイってはねてます。元気な僕と遊ぶのは大変っていわれてるらしいけどこれからもっと活動的になるからよろしくね、ソリャ。

桜だより

［害虫の防除］

初秋になって、活発に葉を食べ食害が目立ってくるのがモンクロシャチホコ（毛虫）です。モンクロシャチホコは、八月下旬～十月下旬にかけて、葉の裏に産み付けられた卵からふ化し、数十匹で群れをつくり葉を食べ始めます。幼虫の体の色は最初は赤褐色ですが、老熟すると黒色になり、黄白色の長い毛が生じて5㎝くらいの体長になります。幼虫は頭と尾を背中側に反らせて静止することから別名「フナガムシ」とか「シリアゲムシ」と呼ばれることもあります。

モンクロシャチホコに食べられた桜の葉は、最初は淡褐色かすり状になるのが特長です。その後は短期間で葉を暴食し、特に苗木はひどく衰弱してしまい、また花芽も食べられてしまいますので翌年の開花に大変悪影響をあたえます。

モンクロシャチホコが発生した樹木の下には多量の黒褐色の糞と食いちぎられた葉片が散乱し、地面が赤褐色に染まってしまいます。

（防除対策）

発生初期の防除が重要になってきます。

巣を見つけたら、広がる前に枝ごと切除して処分するか、葉にかたまっている時期に探し出して殺虫剤の噴霧により駆除します。殺虫剤は、持続的食毒作用の長い「カルホス」乳剤による散布がもっとも効き目があり、予防効果もあります。

一般的にモンクロシャチホコは人体に害はないとされていますが、念のためゴム手袋などで保護して防除するようにしましょう。



モンクロシャチホコ

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
１０：００～２１：００
※12時～13時・17時から18時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　２００円
一般　４００円
※　幼児は無料

≪プールで日頃の運動不足解消を≫

☆　水中ウォーキング　☆

プールで行う運動は、泳ぐことだけではなく“水中で歩く”という運動もあります。中高年の方や、膝・腰が痛い方にもやさしい水中ウォーキング。陸で歩くよりも関節への負担は軽く、運動量もかなりのもの。

友達とおしゃべりしながら、楽しくゆったりとした気持ちで水に体を預けるように歩いてみてください。数回通っていただけば、体調の変化に驚きますよ！！

◇問い合わせ　鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（7月２５日から8月２４日迄の届分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆東瀬　葵（あおい）ちゃん	平成１８年７月２８日	健次・沙由里さん（第１子）	中佐久間	元気にすくすく育って下さい
☆蛭田　琉那（るな）ちゃん	平成１８年７月２８日	栄一・利香さん（第１子）	内宿	元気に育って下さい
☆山賀　海生（かいせい）くん	平成１８年８月　３日	伸一・美友起さん（第３子）	上佐久間	パパとママの所に生まれてくれてありがとう

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。

一部希望に添えない場合もあります

◇総務企画課 広報担当
電話５５－４８０１

人の動き・・・・・

世帯数	３，７６０世帯	（△２）
人口	９，８９８人	（△２１）
うち男	４，７５８人	（△１１）
女	５，１４０人	（△１０）

８月１日現在（前月比）

善意の寄付

大胡　英一さん（大帷子上区）
１００，０００円　社会福祉寄付金
１００，０００円　鋸南病院寄付金